

平成22年度国民健康保険特別会計決算の概要

市民課国保年金班
0479-73-0086

平成22年度は、国保加入者・加入世帯数の減少に伴い療養給付費等の件数も減少しましたが、診療報酬の改定などで1件当たり療養給付費・一人当たり療養給付費は増え、保険給付に係る費用は増加しました。

1 平成22年度国民健康保険特別会計決算収支の状況

平成22年度の国保特別会計の決算は、歳入が前年度比2.0%増の52億6,211万7千円、歳出が前年度比0.2%減の50億9,474万円となりました。

この結果、平成22年度の国保特別会計における実質収支は1億6,737万7千円の黒字となりました。

ただし、一般会計から基準外で3億2,500万円を繰り入れているため、基準外繰入がなかった場合1億5,762万3千円の赤字となります。

(単位:千円)

区 分	22年度 ①	21年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
歳入総額 A	5,262,117	5,159,734	102,383	2.0%
歳出総額 B	5,094,740	5,105,447	△ 10,707	△ 0.2%
歳入歳出差引 C=A-B	167,377	54,287	113,090	208.3%
翌年度に繰り越すべき財源 D	0	0	0	
実質収支 E=C-D	167,377	54,287	113,090	208.3%

実質収支の推移

(単位:千円)

年度	H18	H19	H20	H21	H22
実質収支	187,368	58,602	5,865	54,287	167,377

2 歳入決算

(単位:千円)

区 分	22年度 ①	21年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②	備 考
国民健康保険税	1,475,265	1,331,483	143,782	10.8%	被保険者負担額
国庫支出金	1,526,819	1,507,795	19,024	1.3%	国が負担する額
療養給付費等交付金	172,746	210,577	△ 37,831	△ 18.0%	社保支払基金負担額
前期高齢者交付金	487,819	590,900	△ 103,081	△ 17.4%	社保支払基金負担額
県支出金	285,031	254,130	30,901	12.2%	県が負担する額
共同事業交付金	650,881	611,081	39,800	6.5%	千葉県国保連合会負担額
繰入金	627,792	617,293	10,499	1.7%	市が負担する額
繰越金	26,286	2,865	23,421	817.5%	
その他	9,478	33,610	△ 24,132	△ 71.8%	負担金・諸収入等
計	5,262,117	5,159,734	102,383	2.0%	

《主な増減要因》

(1)国民健康保険税

税率改正により1億4,378万2千円の増加

(2)前期高齢者交付金

前期高齢者(65歳以上75歳未満)の人数は医療保険制度の保険者(健康保険組合等)で異なるため、各保険者の加入数に応じて保険者間の負担に不均衡が生じるので、社会保険診療報酬支払基金からの交付金で調整されます。

また概算金で受け入れた交付金は2年後に概算金を受け入れる際、精算されるため、今回平成20年度交付金が精算された結果、1億2,000万円多く交付されていたことから平成22年度交付金で減額されたため減少

(3)共同事業交付金

30万円以上の高額医療費に対応するため、千葉県国民健康保険団体連合会の共同事業へ加入しており、76件の増により増加

3 歳出決算

(単位:千円)

区分	22年度 ①	21年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②	備考
総務費	94,488	100,621	△ 6,133	△ 6.1%	一般管理経費
保険給付費	3,261,625	3,164,982	96,643	3.1%	一般・退職者の診療等に係る保険者(市)負担分
後期高齢者支援金等	661,952	748,457	△ 86,505	△ 11.6%	後期高齢者医療制度への支援金
前期高齢者納付金等	1,158	2,128	△ 970	△ 45.6%	前期高齢者医療制度への支援金
介護納付金	334,643	322,733	11,910	3.7%	介護2号被保険者に係る保険者(市)納付金
共同事業拠出金	633,715	658,958	△ 25,243	△ 3.8%	千葉県国保連合会への拠出金
保健事業費	31,733	41,951	△ 10,218	△ 24.4%	特定健診等事業費
その他	75,426	65,617	9,809	14.9%	老保拠出金、還付金、国・県返還金等
計	5,094,740	5,105,447	△ 10,707	△ 0.2%	

《主な増減要因》

(1)保険給付費

被保険者(市民)の疾病等に関する保険者(市)が負担する費用で、本年度は受診件数は減少したが、診療報酬の改定などで1件当たり療養給付費・一人当たり療養給付費は増加

(2)後期高齢者支援金等

概算金で支払い、2年後の概算金を支払う際、過不足を精算する。

平成20年度支出金が精算された結果8,041万円多く支払っていたことから、平成22年度支出額から控除されることなどから8,650万5千円の減額

(3)共同事業拠出金

30万円以上の高額医療費に対応するため、千葉県国民健康保険団体連合会の共同事業へ支出する拠出金の減。

(4)保健事業費

特定健診の受診率の低下、保健指導委託料の減少

4 保険給付費の状況

(単位:千円)

区分	22年度 ①	21年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②	備考
診療費保険者(市)負担分	2,834,310	2,775,347	58,963	2.1%	療養給付費
療養費保険者(市)負担分	40,397	37,969	2,428	6.4%	柔道整復、治療用装具等
審査支払手数料	9,267	9,546	△ 279	△ 2.9%	
高額療養費保険者(市)負担分	342,518	311,706	30,812	9.9%	
出産育児一時金	30,583	25,964	4,619	17.8%	
葬祭費	4,550	4,450	100	2.2%	
計	3,261,625	3,164,982	96,643	3.1%	

5 保険給付費に係る件数の状況

(単位:件)

区分	22年度 ①	21年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②	備考
診療費保険者(市)負担分	169,988	175,224	△ 5,236	△ 3.0%	療養給付費
療養費保険者(市)負担分	4,863	4,789	74	1.5%	柔道整復、治療用装具等
審査支払手数料	170,672	176,052	△ 5,380	△ 3.1%	
高額療養費保険者(市)負担分	4,646	4,627	19	0.4%	
出産育児一時金	73	66	7	10.6%	
葬祭費	91	89	2	2.2%	

6 基金残高

国民健康保険財政調整基金保有状況

(単位:千円)

	21年度	22年度
前年度基金の保有状況(A)	103,425	1,653
前年度の剰余金を当該年度に繰り越した額	2,865	26,286
当該年度において基金に積み立てた額(B)	3,000	28,000
当該年度において基金から取り崩した額(C)	104,795	29,182
利子(D)	23	0
当該年度末の基金保有額(A)+(B)-(C)+(D)	1,653	471

7 国保加入世帯数の状況

(単位:世帯、%)

区分	22年度 ①	21年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
世帯数	7,776	7,842	△ 66	△ 0.8%
加入率	51.8	56.0	△ 4.2	-
加入者数	16,403	16,702	△ 299	△ 1.8%
加入率	39.1	41.2	△ 2.1	-

※数値は、年度平均